平成30年度 第7回津有区地域協議会

次 第

日 時:平成30年11月21日(水)

午後6時30分~

会 場:津有地区公民館 中会議室

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 会長会議の報告について
 - (2) 今後の意見交換会について
 - (3) 自主的審議事項について
- 4 その他(次回の開催日程について)

【次回の開催日】

日時:平成30年12月___日() 18時30分~

場所:ファームセンター 農事研修室

(水曜日の場合は津有地区公民館)

内容:自主的審議事項

5 閉 会

津有区地域協議会 今後の意見交換会について

当初スケジュールで開催予定のあった意見交換会について、今後のスケジュール等を踏まえて、実施の有無を含めて検討を行う。

| 名称 | 開催時期 | 対象者 | 内容 | 検討要素 |
|------------------------|--------|-----------------------------|-----------------------|---|
| 町内会長との意見交換会 | 12月~1月 | 町内会長 (32名) | ・地域活動支援事業 ・地域課題 | ・これまで継続して実施してきたが、意見の固定化などが起きている。・これまでは地域課題の抽出を目的に実施していたが、地域協議会はその段階を完了している。・地域活動支援事業の追加募集や検証により、当初の予定より協議時間が大幅に減っている中で、意見交換会を実施するか検討する。 |
| 雄志中学校区地域協議会との 意見交換会 | 1月~3月 | 高士区・諏訪区 地域協議会委員 (24名) | ・地域活動支援事業 ・自主的審議事項 | ・これまでは雄志中学校生徒との意見交換後に開催してきた。・地域活動支援事業や自主的審議事項など、委員同士であるため、共通の話題は多い。・各区の意向を踏まえて開催する必要があるため、津有区として開催する意向があるかを検討する。 |

津有区自主的審議事項 第1回地域協議会の発言の要旨

| | 少子化 | | | 高齢化 | | | | |
|----------|---|---|---|---|---|--|--|---|
| 順位 | 若者の流出 | 地域活動の 減少 | 共働きによる 子育て | 子供の集まる 機会が少ない | 交通手段 | 屋根の雪下ろ し・雪かき | 高齢者サロン | 地域の組織 |
| 地域で解決 | | 3 | | 1 | | | 3 | 2 |
| 市と連動 | 1 | | 3 | | 1 | | | |
| 市が解決 | 1 | | 1 | | | 1 | | |
| 具体的な課題 | ・若者が遊ぶ場所がない・若者がいない・若者が魅力に感じるものがない | ・参加者の減少・各地域での活動が減少・世話役の不足 | ・共働きだと保 育園等の利用 料金が高い ・核家族の増加 | ・娯楽の多様化 により外で遊 ぶ子供が減少 ・子供の安全に 不安がある | ・バスの本数が 少ない ・昔のバス路線 のまま変わ っていない | ・高齢者の除雪が困難のため外出できない・支援団体の高齢化 | ・町内会への 負担・交通手段が ない | ・組織を作って 終わりになっ てしまう・人材の高齢化 |
| 解決手段 | ・市が魅力ある 施設を作る・イベント開催 による若者の 参加促進 | ・声掛けによる地域活動の促進・自由度の高い団体を作る | ・子育てひろばの増加・地域の子育て体制の構築・企業による労働環境の改善 | ・スポーツや部 活動による活 動機会の創出 | ・市による乗合 バスの導入・バス路線の見 直し・市による外出 支援 | ・市からボラン ティアに保険 料を補助・市から地域支 援を補助 | ・行きやすい方 法や手段の検 討・市が主体とな る運営 | ・人材の発掘や 育成・若者が参加し やすい自由度 の高い団体を 作る |
| 主な市の関連施策 | ・就労促進家賃 補助 ・定住促進奨学 金 | ・ファミリー 綱引き大会・地域活動支援 事業 | ・子育てひろば | ・子育てひろば | ・高齢者外出 支援助成 ・運転免許自主 返納支援 | ・除雪費助成制度・除雪協力隊 (スノーバスターズ) | ・すこやかサロ ン (地域支え 合い事業) | ・地域活動支援 事業 |

津有区地域協議会 自主的審議事項整理シート

個別テーマの優先順位

| 地域で解決できるもの | | | | |
|------------|--------------|-----|----|--|
| 順位 | キーワード | 分類 | 票数 | |
| 1 | 子供の集まる機会が少ない | 少子化 | 9 | |
| 2 | 地域の組織 | 高齢化 | 8 | |
| 3 | 地域活動の減少 | 少子化 | 6 | |
| | 高齢者サロン | 高齢化 | 6 | |

| 市に角 | | | |
|-----|-----------|-----|----|
| 順位 | キーワード | 分類 | 票数 |
| 1 | 若者の流出 | 少子化 | 6 |
| | 交通手段 | 高齢化 | 6 |
| 3 | 共働きによる子育て | 少子化 | 5 |

| 市が重 | | | |
|-----|-------------|-----|----|
| 順位 | キーワード | 分類 | 票数 |
| | 若者の流出 | 少子化 | 4 |
| 1 | 共働きによる子育て | 少子化 | 4 |
| | 屋根の雪下ろし・雪かき | 高齢化 | 4 |

| ①個別テーマの設定 | |
|-------------|--------------|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| ②協議方法の検討 | |
| | |
| | |
| ▶ 全体会で協議する。 | ▶ グループ毎に分かれる |

グループの分け方

- ▶北部と南部
- ▶それ以外の方法

③今後の協議に必要な情報

津有区 自主的審議事項に係る審議の進め方

審議テーマ

少子高齢化対策

【ステップ1】 個別なテーマの設定

- ・優先順位を基に、今後協議していく詳細なテーマを設定します。
- ・「地域で解決できるもの」、「市に解決を求めるもの」、「市が動けば地域も 連携して動けるもの」の中から1つ又は2つのテーマを設定します。 (協議時間やグループ人数を考慮すると2つまでが限界です。)



【ステップ2】 協議方法の検討

・従来どおりの全体会方式とグループに分かれるグループ方式のどちらで 協議を進めていくかを検討します。



【ステップ3】 協議に必要な情報

- ・今後の協議に必要な情報を整理します。
- (例) 住民(高齢者・若者・特定の地域など)から意見を聞きたい 市の施策について担当課から説明を受けたい など..

意見書

の 提

出

自主的審議事項 課題解決までのフロー

ステップ1

ステップ2

ステップ3

情報収集

- ・地域住民との 意見交換
- 実態調査

地

域

で

解

決

市

で

解

決

活動基盤の確保

- ・課題解決に協力 可能な団体探し
- ・新組織の立ち上げ

活動への準備

- ・具体的な活動の 協議
- ・資金として地域活 動支援事業を活用

情報収集

- ・地域住民との 意見交換
- ・市の担当課から 説明

情報の整理

- ・情報収集した 意見の整理
- ・課題解決への 根拠を探す

解決手段の検討

・市に解決を求め る内容を検討



